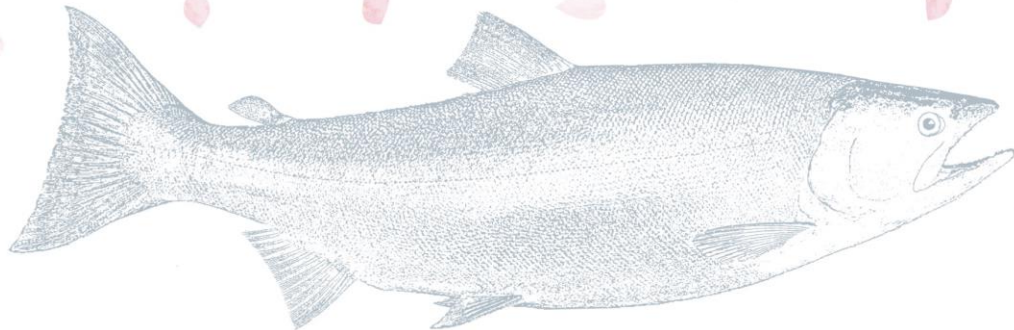


(1) 水産施策等に係る現状報告

ウ 海面養殖サクラマスに関する
取り組み状況について



釜石
はまゆり
サクラマス

サクラマスとは

■サクラマス

Oncorhynchus masou masou (Brevoort, 1856)



サケ目サケ科

地方名：真鱒（ママス）

- ヤマメの降海型
- 天然物は3月～6月頃に定置網で漁獲される
- 高級魚として扱われている

※カラフトマス



岩手沿岸では

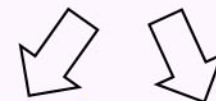
カラフトマス⇒サクラマスと呼ぶことが多い

生活史

ヤマメ（サクラマス）



孵化後、1年半河川で過ごす



サクラマス

降海（銀化）
海で1年生活

ヤマメ

河川に残留



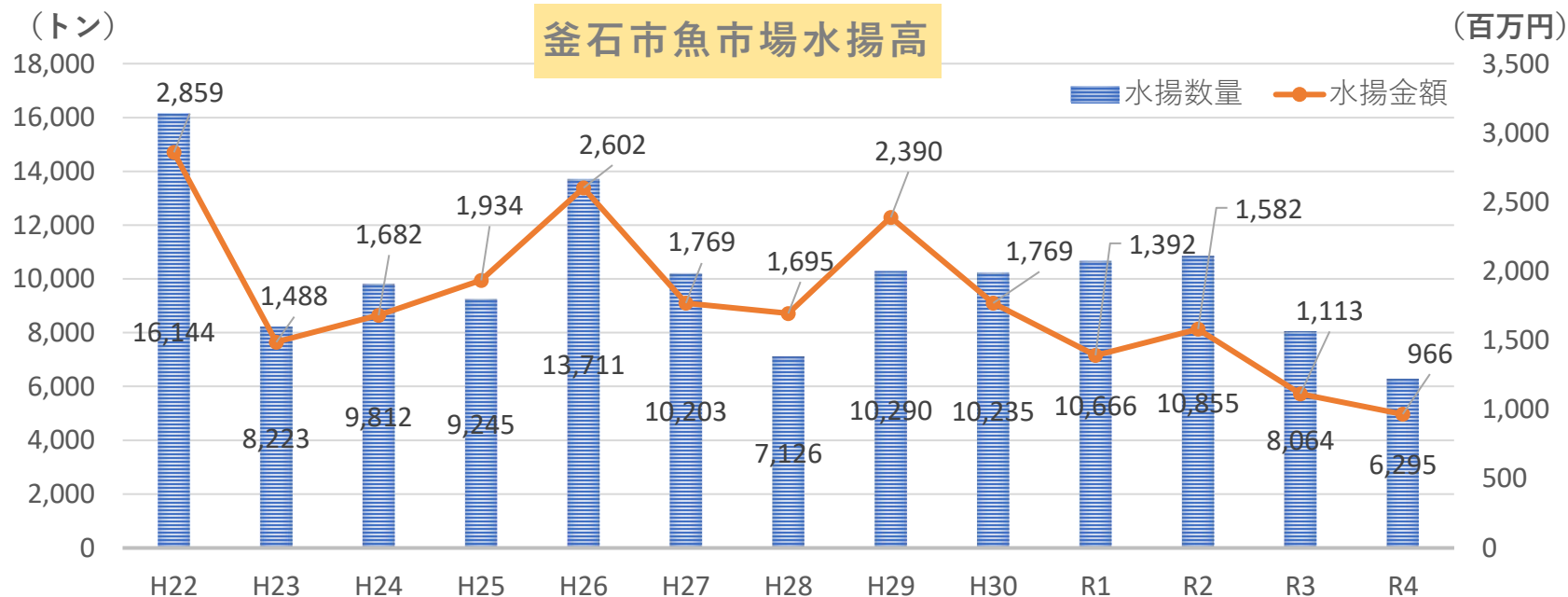
母川回帰
産卵

県内の海面養殖状況（令和5年度）

地域	魚種	名称
久慈市	ギンザケ	久慈育ち琥珀サーモン
宮古市	トラウトサーモン	宮古トラウトサーモン
山田町	トラウトサーモン	岩手・三陸・やまだオランダ島サーモン
大槌町	ギンザケ トラウトサーモン	岩手大槌サーモン
釜石市	サクラマス ギンザケ	釜石はまゆりサクラマス

沿岸各地域でサーモン類の養殖を実施されているが
サクラマスは釜石市のみ生産されている。

釜石市の水産業の現状



出典：釜石市漁業協同組合連合会作成
地方卸売市場水揚げ統計

秋サケやサンマ、スルメイカなど、主要魚種の不漁により、**水揚げ高は減少傾向**

特に**秋サケ**は震災前に比べて、**大幅に減少**

【サケの水揚げ高】

年度	H22	H25	H28	R1	R4
金額(百万円)	984	672	458	44	6
数量(t)	2,171	1,727	577	53	5

出典：釜石市漁業協同組合連合会作成
地方卸売市場水揚げ統計

さらに、高齢化等で漁協組合員数も年々減少

【漁協組合員数】

年度	H22	H25	H28	R1	R4
釜石東部	592	544	479	407	365
釜石湾	644	544	474	396	324
唐丹町	447	401	332	296	258
合計	1,683	1,489	1,285	1,099	947

出典：各漁協業務報告書

釜石市の水産業の現状

厳しい状況が続く水産業。。。



「獲る」漁業から「つくり育てる」漁業へ！
安定した生産が可能な**魚類養殖事業**を始めることに！

養殖コンソーシアム設立（R2.10月）

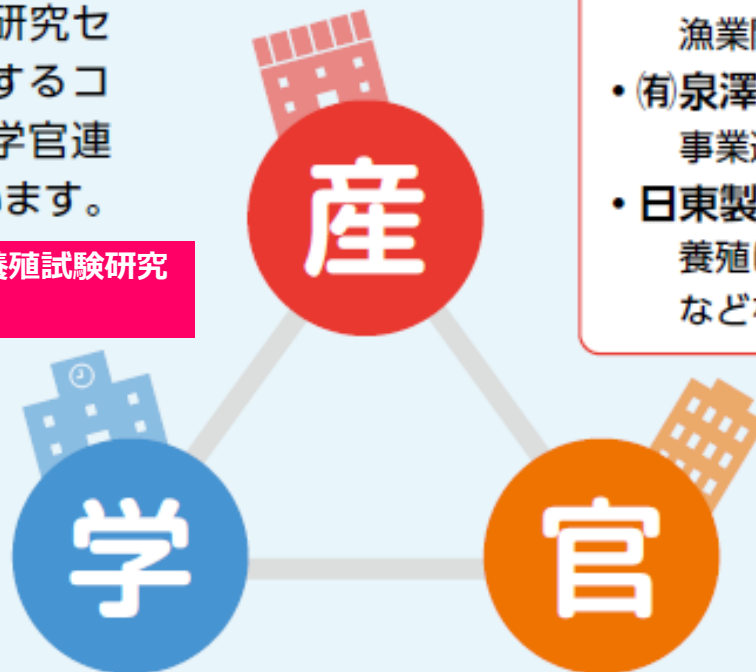
釜石地域サクラマス海面養殖試験研究コンソーシアム

サクラマス養殖は、令和2年10月に岩手大学三陸水産研究センターを研究代表機関とするコンソーシアムを組み、産学官連携の取り組みで行われています。

産学官が連携したサクラマスの養殖試験研究が開始！

岩手大学

種苗開発や各種調査、分析などを担当



釜石湾漁業協同組合

漁業関係者との調整などを担当

(有)泉澤水産

事業運営を担当

日東製網(株)

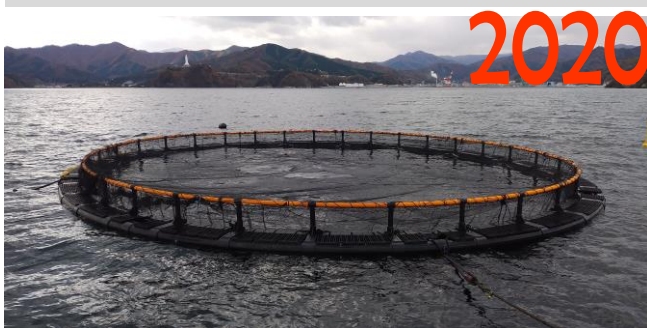
養殖に使用する網やいけすの提供などを担当

釜石市

各種支援、関係機関との連絡調整などを担当

試験研究

第1期目養殖開始(11月)



直径20mの生け簀 1基
稚魚約12,000尾の飼育

第1期水揚げ(6月)

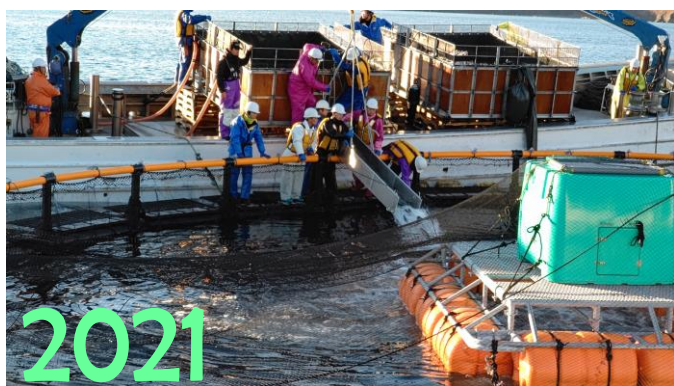
水揚げ期間	6/10~6/21 【5回】
平均サイズ	1.6kg/尾
重量	約13 t
平均単価 【魚市場取引額】	831.7円/kg



※参考2022年度釜石市魚市場平均単価
アキサケ(オス): 590円/kg
(メス): 1,530円/kg

釜石湾での環境下での養殖生産が可能であることを確認

第2期稚魚飼育開始(11月)



1期目の倍の**21,000匹**を投入

第2期水揚げ(7月)

水揚げ期間	7/11~7/29 【7回】
平均サイズ	1.62kg/尾
重量	約27 t
平均単価 【魚市場取引額】	961円/kg



- 約27 tの水揚げ
- 平均単価130円upの高値に！！

生残率の向上など**事業化に移行できる技術を取得**

事業化達成！ 飼育尾数を大幅に増加↑

【事業化の達成（10月）】

第1種区画漁業権を取得、事業化の達成

第3期稚魚飼育開始(11月)

第1期 12,000尾

第2期 21,000尾

第3期 158,000尾



第3期水揚げ（6～7月）

水揚げ期間	6/27～7/27 【15回】
平均サイズ	1.9kg/尾
重量	約160 t
平均単価 【魚市場取引額】	744円/kg

第4期稚魚飼育開始（11月）

2023

	サクラマス	ギンザケ
飼育開始	令和5年11月24日	令和5年11月20日
種苗サイズ	300 g	155 g
尾数	119,363尾	165,778尾

事業化達成により大幅に水揚げ量が増加

プロモーション活動について (2022)

事業化に成功！生産量も増大したものの……生産された大部分が市外に流通している。

⇒市内での活用・流通を増やし、**さかなのまち復活へ**

飲食店、水産加工事業者などを対象に試食会を実施(5月)

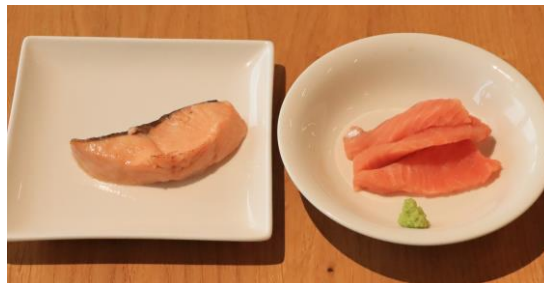
地元の飲食店や水産加工事業者など23者が刺身と塩焼きを試食

⇒養殖サクラマスの**存在**や**美味しさ**を周知につながった

アンケートの結果

⇒**味**は約8割が良い・やや良いと高い評価

⇒**身色の薄さ**から**見た目**（刺身）は厳しい評価



希望のあった飲食店へサクラマスのサンプル配布(8月)

飲食店での利用促進を狙い、サクラマスのフィレを配布



※フィレ：魚の頭を落とし、背骨を外した身のこと



各飲食店がそれぞれ**様々な料理を試作**

プロモーション活動について (2022)

2期目の水揚げと同時に名称を発表 (7月)



名称：釜石はまゆりサクラマス

この名称には、震災を乗り越えて咲くはまゆりの力強さに
復興や養殖発展への願いを込められています。



釜石はまゆりサクラマスプロモーションコンソーシアムの設立(10月)

大学、民間事業者、県及び市でプロモーションに係るコンソーシアムを設立
プロモーション計画の協議等の実施



プロモーション活動について (2023)

地域商品のファン、地域のファン、地域内のファンをつくることを目標に設定

① 地域商品のファン



釜石はまゆりサクラマス

- BtoC事業が軌道に乗る
- BtoBの提案力が高まる
- 新たな販売先を確保

② 地域のファン



釜石市

- 地域に集客する
- リピーターを確保する
- ファンと地域の交流

③ 地域内のファン



応援する人々

- 産地を維持する
- 将来の担い手、ファンをつくる

セミナー開催 (6月)

- ・ サクラマス養殖の経過
- ・ 淡路島サクラマス
ご当地グルメ化の紹介



ワークショップ開催 (7月)

- ・ サクラマスの調理・試食
- ・ 開発メニュー等の意見交換



プロモーション活動について（2023）

釜石はまゆりサクラマスフェア開催（10月）



プロモーションにおける今後の方向性・課題

- 1 継続的な認知度向上に係る取組
- 2 通年の原料供給及び市内での流通の仕組み
- 3 新規経営体の創出
- 4 地域事業者の活用意欲の喚起